

熊野神社崇敬者の皆様へ

◎御神木(榊・ナギ)が見事に復活。これぞ神業！おくまんさまの奇跡！

熊野本宮大社の聖地である「大斎原」に樹生していた榊と榊(なぎ)の御神木。この2本は平成23年9月の台風12号にも耐え抜いた強靱な生命力を兼ね備えた由緒ある御神木です。川越に到着直後、同年12月11日に植樹祈願祭を執行。しかし、紀伊の温暖で湿潤な気候と違い、当川越地区の冬は厳しく、特に榊の木のダメージがひどく、年を越す頃には、葉が全て枯れ落ちてしまいました。樹木医に診て戴いたところ、「99%難しいでしょう。」とのこと。残る1%を問うたところ、「神様の御神徳をいただければ・・・。」との弁。寒さが厳しい間は、榊の木に寒冷紗を掛け、その上からビニールで覆って寒風を遮った。夜は電灯を灯し、少しでも冷氣からのダメージを減らすようにした。その結果、春になると、何と枯れたような枝から榊の新芽が芽吹き始めたのです。何という奇跡でしょうか。これぞまさしく神様の御神徳。勿体ないやら嬉しいやらの瞬間でした。その後も祈るように見守り続けていると、力強い立派な若葉が数多く茂ってくれました。

そして今年平成25年を迎え、春先は下の写真のようにまだまだ弱々しい新芽でしたが、春から夏のお天道様のお恵みとおくまんさま(熊野神社の通称)の御神徳をいただき、新芽や新しい枝を伸ばし、2年前に比べると樹高も葉の数も見違えるほど大きく成長することができました。これぞまさしく神業であり、おくまんさまの奇跡であります。この榊を目の当たりにするに付け、思わず頭の下がる思いであります。この榊のご神木が今後数百年数千年と多くの参拝者の皆様を見守り勇気づけてくださることを願わずにはられません。



平成23年12月11日

⇒
葉が一枚もない榊木
⇒



平成25年4月4日



平成25年12月19日現在

◎熊野神社に開運指南場を開設！

当熊野神社の主祭神であられる伊弉諾尊(いざなぎのみこと)は、大八島国を始め多くの国をお産みになられました。と同時に天照大神、須佐之男命など多くの神々の御親神様でもあり、御神徳の高い開運の神として人々に崇敬されています。そんな主祭神様の御威光をお分かちいただき、参拝される方々が生きる力を、勇気を奮い起こすお手伝いのできたらと考え、開場したのが熊野神社開運指南場です。あくまでも運をつかむのは、崇敬者の皆様お一人お一人です。ただ誰でも時として、自分一人での解決方法に不安があったり、どこに答えを置いたか忘れていたりすることがあります。そんな時、解決のヒントをもらったり、その方が忘れてらっしゃる自分の可能性(素晴らしい潜在能力)を再認識したりできれば、前向きに生きることができるのではないのでしょうか。

「今日の自分があるのも、今日こうしてられるのも神様のおかげだ。神様のお恵みだ。もったいなくも生かされている。」と感謝できる心さえあれば、この上ない心強さを持てるのではないのでしょうか。何物にも代えがたい心の支え、自分を応援してくれるものを実感できたとき、人は大きな夢と勇気を持って歩むことができるのではないのでしょうか。



平成26年1月1日

熊野神社社務所